

青山学院大学様における 各種サービス



英語コミュニケーション力測定テスト「OPIC」サービスの様子



■英語コミュニケーション能力を総合的に測定するOPIC

OPICは、ACTFLの公認評価者と受験者が1対1の面談形式で行うインタビューテストOPI (Oral Proficiency Interview) を、受験しやすいIBT (Internet Based Test) 形式で実施できるようにしたテストです。評価は、英語の語彙力や文法の知識だけでなく、実際の業務や生活の中でどれだけ効果的かつ適切に英語を駆使できるかを測定するコミュニケーション能力評価となっており、最近では大学の授業での活用や留学時のレベル判定等にも利用されています。

英語コミュニケーション力測定テスト「OPIC」と 当日の様子をご紹介します

OPIC サービス紹介ホームページ
<http://global8.or.jp/opic.html>



講義・セミナーサービスの様子

<http://global8.or.jp/seminar.html>

■経済学部 小張ゼミにおける特別授業

5月13日午後、小張ゼミはいつもと違った雰囲気で行われました。まず最初にゼミ生の皆様30名に対し、OPICを実施しました。受験後、何人かの方にはOPIC受験についてインタビューもさせて頂きました。続いて、「企業が求める人材 5W's & 1H」というタイトルで講演を行いました。夜にはゼミ生の皆様との懇親会も行いました。さて、ゼミ生の皆様にはOPICはどのように映ったのでしょうか？裏面では、皆様の感想を中心にご紹介します。



EVEサービスの様子

<http://global8.or.jp/eve.html>

EVE (Experience Value Exchange) サービスとはインターネットを通して知りうる情報ではなく、実際の体験を通して五感で感じる価値の交換を目指しています。具体的には、社会人との経験交換や海外の人との多様な価値交換を試みます。

単に場や機会を提供するのでは無く、OPICサービス等を通じて価値交換の可能性を高めると共に、その有難みを醸成することにより、相互の「つながり」やサービスの改善を目指します。

■ひな形となった経済学部 小張ゼミ シンガポールにおける NUSの模様と企業訪問のフィードバック抜粋

①企業訪問で、自分の軸をしっかりと持つことの大切さを実感できました。その軸を見つけるにはより多くの宗教や文化を持つ人々と触れ合うことでした。

自分のcomfort zone から抜け出すのはあまり得意では無いけれど、自ら踏み入れたいと思いました。今日の英語は聞き取りにくかったですけど、アメリカ英語だけではない英語も聞き取れる力が必要だと感じ、まだまだ経験が必要だと思いました。

②シンガポールに来て感じていることのお話は、とてもリアルで、心に残りました。日本にいては知ることのできなかった自身の軸、強みをしっかりと捉えていて、自信を持っている感じがとてもカッコいいなと思いました。海外赴任への憧れと興味が増えました。



GLOBAL⁸

一般社団法人 Global8 〒108-6028 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 28 階 URL: <http://global8.or.jp>

青山学院大学様にて開催



■OPIcを「奨める」「良いものだという」意見が9割！

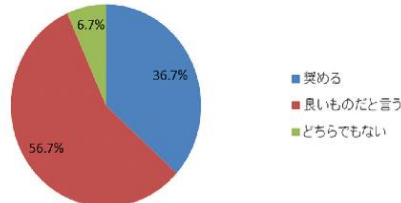
受験後、全員にアンケート調査を実施しました。それによると「友達や後輩に受験を奨める」という意見が9割以上を占め、たいへんポジティブに受け留めていただきました。

また、自由記述のコメントでは、

- ・途中でレベルを変えられるのは良いと思った
- ・自分でレベルが選べるため、気軽に受けやすいテストだと思いました

というご意見を多く頂きました。実はOPIcでは、レベルの選択と変更ができるのです。いったい、どういうことなのでしょう？

友達や後輩に受験を奨めますか？



オリエンテーション

1 Background Survey

職業、関心分野、レジャー、趣味など自分に関連ある選択肢を選ぶ

- 個人に関するアンケートの結果から、関連する問題を出題
- テストに対する安心感、発話量を確保

2 Self Assessment

スピーキング能力に関する説明と回答サンプルから、自分のレベルを自己診断する

- 自己診断の結果から、問題のレベルを決定
- レベルによって問題の難易度が異なる

受験者のレベル、関心分野に基づいて12~15問が出題

- ある場所、人、物事に関する出題
- 仕事や周辺活動に関する出題
- 過去の経歴、仕事などに関する出題
- 質問を作成する出題

テスト

- ✓ 問題聴取 2回
- ✓ 問題毎の回答時間制限はない

途中、難易度の再調整

■自分でテーマの選択やレベルの設定ができるOPIc

OPIcには「background survey」と「self assessment」という2つの機能があります。

「background survey」は、いわば事前アンケートのようなものです。職業や趣味、関心分野などを選択すると、それに沿った出題がされます。

「self assessment」は、レベルを選択できる機能です。初級レベルから上級レベルまで、自分の現状に合ったレベルを選択して受験することができます。もしもレベルが合わないと感じた場合は、途中で一度だけ変更することもできます。

■受験後の突撃インタビュー（原文のままご紹介！）



Aさん

（他のスピーキングのテストは）まとめるだけみたいな感じで、自分で何も考えさせたくないテストなので、それと比べると自分でもっと作文してる感じがあってすごい楽しかったです。普段やっているのが基本的にリスニングとリーディングで、受け身のことしかやってないので、もうちょっと書いたり話したり、そういう発信できるような人間になれるようになりたいです。

（一つの問題には）時間制限がなかったので頭の中でちゃんと落ち着いて整理する時間があったのですごい話しやすかったです。



Cさん

大学ではチャットルームというのがあってそこでは留学生や先生と英語でコミュニケーションすることができます。今後は、そこに積極的に通っていきたいと思いました。



Bさん

■小張敬之先生（経済学部教授、Ph.D.）からコメントを頂きました

「現場で国際的に働いている方のお話は、これから就職活動をしようとしている3年生に大変いい刺激になりました。今回のOPIcの試験と講演、大変良かったと思います。又、引き続きのシンガポールでのゼミ研修にも相乗効果を及ぼし、その成果は事前と事後のOPIc評価における効果にも現れていると思います」

